



APOLOGVS .

Vea la uolpe conuitata la cicogna cō inganni & fraude per uolerla ocl  
a lare la cicogna credendose semplicissima mēte & con amicia \*procedere  
lo conuito & per uolerle fare atto de amicia ando allo conuito doue

イソップ伝並びに寓話集

ナポリ 1485 年刊

縦 28.3 cm 横 20.5 cm

紀元前六世紀頃のギリシア人イソップ（アイソポス）が物語ったと伝えられる寓話集。

洋の東西を問わず愛読されてきた「イソップ物語」は元

来、文字のまだ定着していないその時代に、イソップが動物の習性や行動を巧みに比喻に採り入れ、時に応じて民衆に語った処世訓であった。

それゆえに今日親しまれている形の「物語」の成立には、口伝から写本、そして印刷された書物へと変遷し、その間古今の有名無名の哲人、文人が介在している。

掲出の書は、一四八五年ナポリのフランチェスコ・デル

・トゥツポ刊行のインキユナブラ（グーテンベルクによる活字印刷術の発明以後、同じ一五世紀の内にヨーロッパで印刷された稀少な書物）。

巻頭にイソップの伝記を収め、ラテン語の本文と共にナポリの法律家トゥツポによるイタリア語訳を付している。

文字は美しいローマン体で、印刷は鮮明。各話毎に一ページ大、またはそれに近い大きさの木版挿絵八四図を収め、この図はその上部分にはめ込まれた騎士の格闘図や華麗な額縁飾りで引き立てられている。また、挿絵の多くは、当時の手で彩色が施されている。

（天理図書館 福田由紀子）



数多いイソップ絵入り古版本の中でも、本書は美しく優れた木版挿絵によって極めて重要な位置を占め、訳者で刊行者のトゥツポの名にちなみ「トゥツポ版」と呼ばれている。表の掲載図はこうのとりと狐の話。カットは巻頭のイソップ伝でイソップと犬、そして哲学者クサントスとその妻を描く。

（天理図書館 福田由紀子）

天理図書館のお知らせ Tel:0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>  
 平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）  
 ただし9月30日は休み  
 （本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）